

2007 ニッケレポート

第177期中間(平成18年12月1日~平成19年5月31日)

日本毛織株式会社

NIKKE.

「健康・快適・安全を提供する生活創造企業グループを目指して」

株主の皆様には、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。ここに当社第177期中間（平成18年12月1日から平成19年5月31日まで）のニッケレポートをお届けするにあたり、当中間期の営業の概況をご報告申し上げます。

当中間期における経済環境は、原油価格の高止まりが続くものの、企業収益の拡大を背景に設備投資の増加、雇用情勢の改善等、景気は緩やかな回復を続けました。また、世界経済も米国経済の先行き不透明感はあるものの、堅調に拡大を続けました。

このような情勢の中で当社グループは、当期を初年度とする「ニッケグループNN2008経営計画」を策定し、持

続的な収益向上と成長を可能とする事業構造の構築に向けた取り組みをスタートさせました。

繊維事業では、中国における織物一貫生産体制の強化、海外展示会への積極参加等、中国や欧米への販路拡大を推し進めました。また、商品開発においては毛羽立ちの少ない軽量素材「スーパーソフポート」、軽さと通気性を高めた「ライトツイスト」などの高機能素材を商品化いたしました。

非繊維事業では、乗馬・ペット事業のTVコマーシャル実施や通信関連事業の拡大等、生活関連事業の積極的な展開を推し進めました。また、商業施設「ニッケコルトンプラザ」のリニューアル増床を決定し、平成21年春にグランドオープンを予定しております。

以上の結果、当中間期の連結売上高は511億円強（前年同期381億円余）、連結経常利益は37億円余（前年同期31億円）、連結中間純利益は19億円強（前年同期25億円余）となりました。

また、単独の売上高は231億円強（前年同期216億円強）、経常利益は35億円強（前年同期27億円強）、中間純利益は22億円余（前年同期23億円余）となりました。

なお、中間配当につきましては、先にご通知申しあげましたとおり、**1株につき7円**とし、支払い開始日を8月17日とさせていただきますので、ご高承賜りますようお願い申し上げます。

当下半期につきましては、「ニッケグループNN2008経営計画」達成へのステップとして「収益性向上」と「持続的な成長」に向けた具体的取り組みを進めるとともに、企業の社会的責任を一層意識し、「ニッケグループ企業倫理規範」の実践を推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、ますますのご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年8月 代表取締役社長

降井 利光



繊維事業

衣料繊維製品

梳毛織糸は、世界的なウール回帰のもと需要が堅調に推移するなかで、中国工場を含めた適地生産を強化し、増収となりました。紡毛糸は、拡販に努めた結果、販売量が増加し、増収となりました。ニット糸は、販売量が前年並みにとどまりましたが、販売価格の引き上げにより、増収となりました。なお、豪州羊毛が干ばつの影響で高騰し、原料コストが大幅に上昇するなか、梳毛織糸・紡毛糸につきましても販売価格の引き上げを実施しました。



紳士服は、クールビズを中心とした清涼素材を重点に大手専門店・百貨店アパレルと取り組んできましたが、流通段階における在庫調整が改善されず、減収となりました。しかし、北米向け輸出が好調に推移し、国内減をカバーしました。



婦人服は、大手客先とのコラボレートを主軸にウール素材を販売してきましたが、暖冬の影響もありスーツ類の落ち込みが大きく、減収となりました。

スクールユニフォームは、学校・業界に対する「高品質」「高付加価値」「高機能」素材の積極的な企画・開発・提案が一定の成果を収め、さらにニット製品など周辺商品を拡販した結果、増収となりました。市場も私学小等部の新設、公立小中一貫校の新設、総合学科校等の新しい形態校の設立などにより、制服のモデルチェンジ校が増加し活性化しました。

ビジネスユニフォームは、高品質原料を駆使した新企画素材群の展開とナノ技術をはじめとした新機能・高付加価値素材の開発・提案を積極的に進め、大口物件の受注促進に繋げるとともに、流通対策、QR製造対応など粘り強い活動を行った結果、増収となりました。また、景況感の確かな回復基調により、金融機関をはじめとする企業業績は底堅さを見せ、「制服の復活」など徐々に市場に活性化の動きが表れてきました。

繊維資材製品

生活産業用資材は、衣料用途の需要は引き続き低調でしたが、自動車・OA機器向け不織布が好調に推移、また楽器用フェルトおよび鉄道車両用断熱材も海外需要を中心に増加し、焼却炉用フィルターの高付加価値受注にも支えられて、増収となりました。

寝装品は、生産・販売面での構造変化が続くなかで、国内生産基地の安定確保と新規販売ルートの開拓に努めましたが、ギフトおよび専門店・卸の需要が減少し苦戦しました。加えて暖冬による流通段階での在庫調整により受注が伸びず、減収となりました。

カーペットは、テニススクールの新規出店の減少と改装延期が重なりテニスサーフェスの販売は苦戦しましたが、中高級ホテル改装物件の受注増に加え、家庭用カーペットの販路拡大とタイルカーペットの順調な販売推移により、増収となりました。

以上の結果、繊維事業の当中間期の売上高は331億円余と前年同期に比べ85億円弱の増収となりました。

新製品・新技術



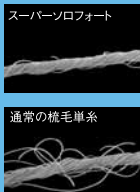
SuperSolofort

スーパーソロフォート

シャープに、軽やかに。

薄い織物が得られる通常の梳毛単糸は、細い代わりに毛羽が立ちやすく、引っぱりや摩擦に弱い性質があります。その欠点を解決したのが、新・マルチ交絡糸(スーパーソロフォート)。上質の細番手単糸を使い、複雑に配列を変えながら撚りをかけるニッケ独自の新技术で、驚くほど毛羽立ちの少ないシャープな質感の、爽快ウールが誕生しました。

- 毛羽立ちの少ないシャープな生地表面
- 軽さと通気性を追求したクールな着用感
- 動きやすい適度なストレッチ性



LightTwist

ライトツイスト 空気を着る、涼感。

涼しさとともに、空気を着るような軽さをプラスした新感覚の涼感素材が誕生しました。軽くソフトな異型中空ポリエステル繊維をウールに複合、さらにトルネードツイスト(2段撚糸法)により「軽さ」と「通気性」を驚異的に高めた新・涼感ウール、それが「ライトツイスト」です。

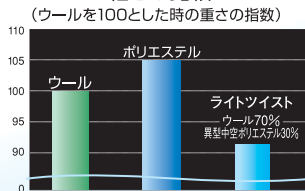
軽さの秘密

異型中空ポリエステル繊維

繊維の中が8の字構造の中空を形成しているため、いままでにない軽さとソフトな風合いをもつ異型中空ポリエステル繊維を、複合素材として採用しました

軽さの比較

(ウールを100とした時の重さの指数)



トルネードツイストが実現
従来の盛夏織物の
150%の通気性



非繊維事業

ショッピングセンター事業は、ニッケパークタウンは堅調に推移しましたが、ニッケコルトンプラザは主力テナントの賃料減により、減収となりました。



ニッケ コルトンプラザ

スポーツ事業は、テニスは他のスポーツ施設との競合により伸び悩んだものの、ゴルフはイベントやスクール等の地道な営業活動と天候にも恵まれ、増収となりました。

乗馬・ペット関連事業、介護事業、通信関連事業、アミューズメント事業は、ペットフードのコマーシャル効果、小規模多機能居宅介護事業の開始、M&Aによる新規グループ会社の寄与等により、いずれも増収となりました。

不動産事業は、神戸市内の寮跡地の賃貸を新たに開始し、建設部門での大型物件の完工もあり、増収となりました。

エンジニアリング事業他は、半導体関連および計測機器分野は低迷しましたが、自動車関連の設備投資は引き続き好調に推移、M&Aによる新規グループ会社の寄与もあり、増収となりました。またテニス・バドミントン用ラケット、釣糸等は、M&Aによる新規グループ会社の寄与により、増収となりました。



ゴーセン テニス用品

以上の結果、非繊維事業の当中間期の売上高は180億円余と前年同期に比べ45億円余の増収となりました。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (平成19年5月31日現在) (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
[資産の部]		[負債の部]	
	71,012	流動負債	41,306
現金及び預金	14,062	支払手形及び買掛金	12,937
受取手形及び売掛金	27,485	短期借入金	20,261
有価証券	1,549	1年以内に償還予定の社債	457
たな卸資産	26,062	未払法人税等	1,192
繰延税金資産	746	繰延税金負債	9
その他	1,258	その他	6,447
貸倒引当金	△151	固定負債	27,584
	78,149	社債	1,176
	37,478	長期借入金	1,371
建物及び構築物	24,431	繰延税金負債	9,236
機械装置及び運搬具	6,255	退職給付引当金	4,165
土地	5,683	役員退職慰労引当金	125
建設仮勘定	327	長期預り敷金・保証金	11,199
その他	780	その他	308
	672	負債合計	68,890
のれん	260	[純資産の部]	
その他	412	株主資本	65,564
	39,997	資本金	6,465
投資有価証券	32,378	資本剰余金	4,532
長期貸付金	435	利益剰余金	57,358
繰延税金資産	800	自己株式	△2,791
その他	6,994	評価・換算差額等	13,221
貸倒引当金	△612	その他の有価証券評価差額金	12,801
	149,162	繰延ヘッジ損益	98
		為替換算調整勘定	321
		少数株主持分	1,485
		純資産合計	80,271
資産合計	149,162	負債及び純資産合計	149,162

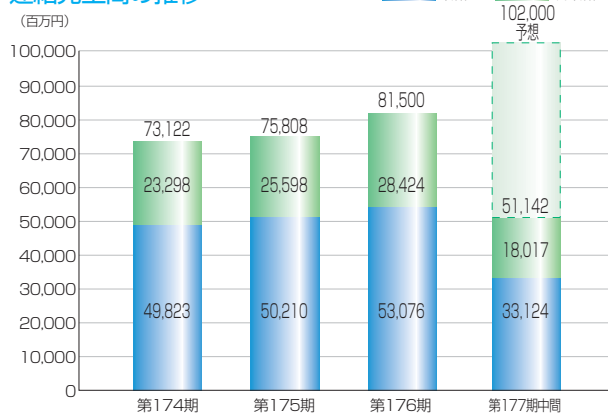
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

中間連結損益計算書 (平成18年12月1日から平成19年5月31日まで) (単位:百万円)

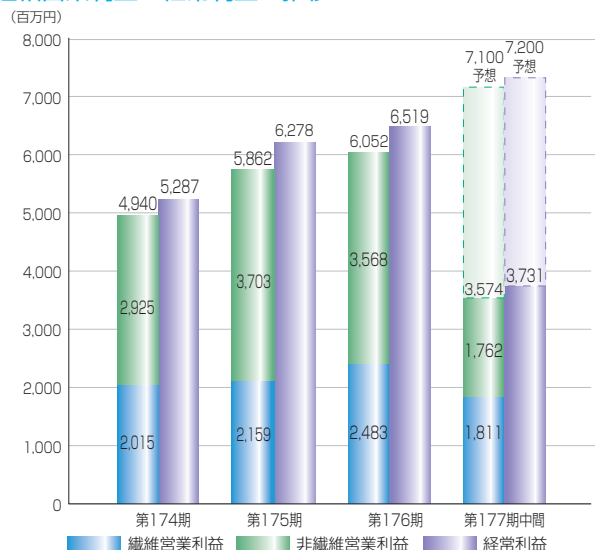
科目	金額
売上高	51,142
売上原価	39,289
売上総利益	11,852
販売費及び一般管理費	8,278
営業利益	3,574
営業外収益	
受取利息及び配当金	280
その他	235
営業外費用	
支払利息	182
その他	177
経常利益	3,731
特別損失	
適格年金制度廃止に伴う終了損失	55
構造改善費用	42
税金等調整前中間純利益	3,632
法人税、住民税及び事業税	1,280
法人税等調整額	362
少数株主利益	33
中間純利益	1,955

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

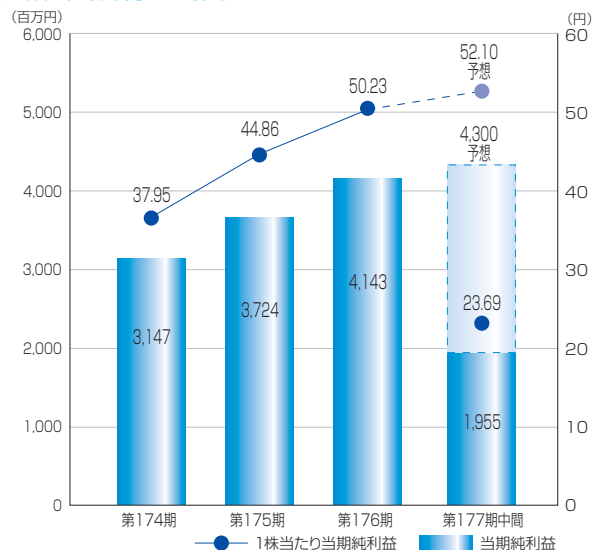
連結売上高の推移



連結営業利益・経常利益の推移



連結当期純利益の推移



連結株主資本等変動計算書 (平成18年12月1日から平成19年5月31日まで)

(単位:百万円)

	株 主 資 本					評 価 ・ 換 算 差 額 等				少 数 株 主 持 分	純 資 産 合 計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計		
平成18年11月30日残高	6,465	4,532	56,234	△2,763	64,468	12,040	121	121	12,283	1,363	78,115
当中間連結会計期間中の変動額											
剰余金の配当	-	-	△825	-	△825	-	-	-	-	-	-
中間純利益	-	-	1,955	-	1,955	-	-	-	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	△36	△36	-	-	-	-	-	-
自己株式の処分	-	2	-	8	11	-	-	-	-	-	-
持分法適用会社の減少による減少	-	-	△7	-	△7	-	-	-	-	-	-
その他	-	△2	2	-	-	-	-	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当中間連結会計期間中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	760	△22	200	938	121	-
当中間連結会計期間中の変動額合計	-	0	1,124	△28	1,096	760	△22	200	938	121	2,156
平成19年5月31日残高	6,465	4,532	57,358	△2,791	65,564	12,801	98	321	13,221	1,485	80,271

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

事業の種類別セグメント情報

(平成18年12月1日から平成19年5月31日まで) (単位:百万円)

	繊維事業	非繊維事業	計	消去又は全社	連結
売上高及び営業損益					
(1)外部顧客に対する売上高	33,124	18,017	51,142	—	51,142
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	23	206	230	(230)	—
計	33,148	18,223	51,372	(230)	51,142
営業費用	31,336	16,461	47,797	(230)	47,567
営業利益	1,811	1,762	3,574	—	3,574

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(平成18年12月1日から平成19年5月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,051
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,516
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	2,132
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	33
V 現金及び現金同等物の増減額	1,700
VI 現金及び現金同等物の期首残高	11,935
VII 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	344
VIII 現金及び現金同等物の中間期末残高	13,980

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

中間貸借対照表 (平成19年5月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
[資産の部]		[負債の部]	
流動資産	40,103	流動負債	17,414
現金及び預金	8,383	支払手形	1,715
受取手形	2,485	買掛金	1,964
売掛金	10,753	短期借入金	6,602
有価証券	1,496	未払金	849
製品	6,045	未払費用	1,209
原材料	1,346	未払法人税等	923
仕掛品	3,674	未払消費税等	162
繰延税金資産	428	預り金	2,315
その他	5,503	その他	1,670
貸倒引当金	△13		
固定資産	73,705	固定負債	23,092
有形固定資産	26,484	長期借入金	505
建物	18,157	繰延税金負債	8,929
構築物	2,727	退職給付引当金	2,653
機械及び装置	2,645	長期預り敷金・保証金	10,792
車両運搬具	17	その他	212
工具器具及び備品	329	負債合計	40,506
土地	2,568		
建設仮勘定	38	[純資産の部]	
無形固定資産	75	株主資本	60,563
施設利用権等	75	資本金	6,465
投資その他の資産	47,146	資本剰余金	5,092
投資有価証券	31,391	資本準備金	5,064
関係会社株式	5,721	その他資本剰余金	28
出資金	54	利益剰余金	51,796
関係会社出資金	1,882	利益準備金	1,616
長期貸付金	2,450	その他利益剰余金	50,179
破産・更生債権等	328	自己株式	△2,791
長期前払費用	25	評価・換算差額等	12,739
その他	5,675	その他有価証券評価差額金	12,729
貸倒引当金	△382	繰延ヘッジ損益	9
資産合計	113,809	純資産合計	73,302
		負債及び純資産合計	113,809

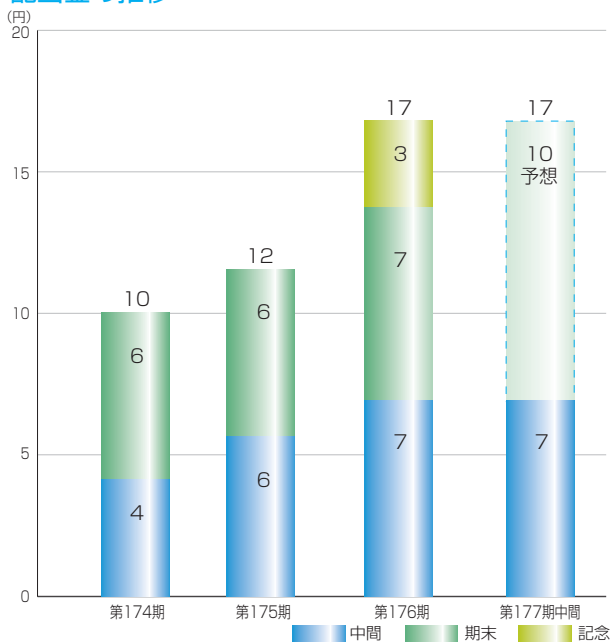
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

中間損益計算書 (平成18年12月1日から平成19年5月31日まで) (単位:百万円)

科目	金額	
売上高		23,147
売上原価		17,859
売上総利益		5,287
販売費及び一般管理費		2,410
営業利益		2,876
営業外収益		
受取利息及び配当金	756	
その他	218	975
営業外費用		
支払利息	61	
その他	237	299
経常利益		3,552
特別損失		
関係会社株式評価損	70	
構造改善費用	35	105
税引前中間純利益		3,447
法人税、住民税及び事業税		1,004
法人税等調整額		227
中間純利益		2,215

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

配当金の推移



中間株主資本等変動計算書 (平成18年12月1日から平成19年5月31日まで)

(単位:百万円)

	株主資本							評価・換算差額等				純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金			自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益		評価・換算差額等合計
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金	利益剰余金合計						
平成18年11月30日残高	6,465	5,064	25	5,090	1,616	48,789	50,406	△2,763	59,198	11,982	△0	11,981	71,179
当中間期中の変動額													
剰余金の配当	-	-	-	-	-	△825	△825	-	△825	-	-	-	-
中間純利益	-	-	-	-	-	2,215	2,215	-	2,215	-	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	-	-	-	-	△36	△36	-	-	-	-
自己株式の処分	-	-	2	2	-	-	-	8	11	-	-	-	-
株主資本以外の項目の当中間期中の変動額(純額)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	747	10	758	-
当中間期中の変動額合計	-	-	2	2	-	1,390	1,390	△28	1,364	747	10	758	2,122
平成19年5月31日残高	6,465	5,064	28	5,092	1,616	50,179	51,796	△2,791	60,563	12,729	9	12,739	73,302

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示している。

第2回 ニッケ Pure Heart エッセー大賞 / イラスト大賞

■第2回ニッケPure Heartエッセー大賞 / イラスト大賞

ニッケは若い人たちの純粋な視点を社会へ伝える場として、「等身大のPure Heart」をテーマに日本語エッセー・イラストを募集する「ニッケPure Heartエッセー大賞 / イラスト大賞」を実施しています。

今回、エッセー大賞では応募の対象を従来の高校生・大学生に加え新たに「中学校の部」を設定、幅広く応募を呼びかけています。また昨年に引き続き特別審査員に乙武洋匡さんを迎え、最終審査会にて予備審査通過者とお互いの作品について語り合うトークセッションを開催する予定です。

イラスト大賞はエッセー大賞と同じテーマで、年齢を問わずイラスト募集する企画です。子供から大人まで誰もが抱く夢や純粋な気持ちを描いていただきます。



ニッケPureHeartエッセー大賞 特別審査員 乙武洋匡さん



Pure Heart

エッセー・イラスト集 Vol.1

エッセーとイラストで綴る101×2の心の風景

■「Pure Heartエッセー・イラスト集vol.1」発刊

「第1回ニッケPure Heartエッセー大賞 / イラスト大賞」応募作品の中から選りすぐったエッセー・イラストそれぞれの上位101作品を掲載した受賞作品集を3月に発刊いたしました。

この作品集には、上位入賞作品の掲載をはじめ乙武洋匡さんからのメッセージやトークセッションの様態も収められており、みずみずしい感性が凝縮した1冊となっています。

会社概況

社名	日本毛織株式会社
設立	1896年(明治29年)12月3日
資本金	6,465,692,900円
従業員数	680名(連結4,211名)
営業品目	毛糸・毛織物その他各種繊維製品製造加工販売、 ショッピングセンター、スポーツ、賃貸事業
当社ホームページ	http://www.nikke.co.jp

主な事業所

本店	神戸市中央区明石町47番地
本社	大阪市中央区瓦町3丁目3番10号
東京支社	東京都中央区八丁堀1丁目2番8号
印南工場	兵庫県加古川市米田町船頭440番地
一宮工場	愛知県一宮市今伊勢町本神戸字河原1番地
岐阜工場	岐阜県各務原市鷺沼各務原町8丁目7番地
ニッケパークタウン	兵庫県加古川市加古川町寺家町173番地1
ニッケコルトンプラザ	千葉県市川市鬼高1丁目1番1号

取締役、監査役および執行役員

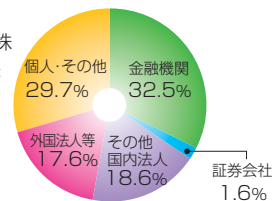
取締役会議長	中井宏明	常勤監査役	岸本紀雄
取締役社長	降井利光	常勤監査役	星田和紘
取締役常務執行役員	松村博昭	社外監査役	中村俊雄
取締役常務執行役員	山本義行	社外監査役	雀部昌吾
取締役常務執行役員	佐藤光由	執行役員	樫根哲郎
取締役	谷憲治	執行役員	磯崎幸士
社外取締役	丹羽一彦	執行役員	迫間満彦
社外取締役	近藤定男	執行役員	山本文彦
		執行役員	瀬野三郎
		執行役員	岩浜順二

主な関係会社

アカツキ商事株式会社	東京都墨田区両国2丁目1-3
アンピック株式会社	兵庫県姫路市城東町180
株式会社ニッケ機械製作所	兵庫県加古川市加古川町寺家町269-1
青島日毛織物有限公司	中国山東省青島市城陽区双元路青大工業園
江陰日毛紡績有限公司	中国江蘇省江陰市顧山鎮北国老錫張路96号

株式の概況

株主数	10,733名
発行可能株式総数	192,796,000株
発行済株式総数	88,478,858株



大株主

株主名	所有株数
株式会社三菱東京UFJ銀行	4,014,417株
株式会社三井住友銀行	3,991,000株
株式会社みずほコーポレート銀行	3,988,000株
帝人株式会社	2,905,000株
日清紡績株式会社	2,763,000株
ステートストリートバンク・トラストカパ・ニ-505019	2,614,000株
日本生命保険相互会社	2,183,285株
株式会社竹中工務店	2,000,000株
日本スターライト信託銀行株式会社(信託口)	1,719,000株
株式会社損害保険ジャパン	1,690,000株

※当社の保有する自己株式5,944,213株は上記の表には含まれておりません。

株主メモ

事業年度	毎年12月1日から翌年11月30日まで
定時株主総会	2月下旬
株主総会・期末配当金基準日	11月30日
中間配当金基準日	5月31日
証券コード	3201
公告方法	電子公告 http://www.nikke.co.jp/investor/koukoku/index.html (電子公告できない場合は神戸新聞に掲載します。)
株主名簿管理人	〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒530-0004 大阪市北区堂島浜1丁目1番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話(通話料無料)	0120-094-777(土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店 野村證券株式会社 全国本支店

- 単元未満株式の買取請求、買増請求も承っております。
- 株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。
電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)
0120-684-479(大阪証券代行部)
ホームページアドレス http://www.tr.mufg.jp/daikou/



めざせ 世界を! ニッケがサポートします。

NIKKE ALL JAPAN TENNIS

 **ニッケ全日本テニス選手権 82nd**

2007年11月11日(日)~18日(日)
有明コロシアム & 有明テニスの森公園テニスコート

■ TV放映予定: NHK教育テレビ
〈女子決勝〉11/17(土) 〈男子決勝〉11/18(日)

■ お問い合わせ: (財)日本テニス協会 TEL.03-3481-2321
<http://www.jta-tennis.or.jp>

信頼の軌跡、さらなる飛躍



日本毛織株式会社



知るほどなるほど、元気なニッケが見えてくる。
<http://www.nikke.co.jp>

表紙の壁に掛けられた作品は、1930年代に当社ポスターに使用された奥山儀八郎作の版画複製です。

R100  PRINTED WITH SOY INK™
古紙配合率100%の再生紙と大豆油インクを使用しています。